



號七十四第  
 月九年六十和昭  
 行發日十・回一月十  
 錢五金部一價定誌本一  
 錢拾六金(共稅)年一  
 一才 田杉 編兼行發  
 入刷印  
 一ノ七西區區區京市京東  
 社信通盟同 所行發

# 東亞新秩序の建設

參與 小畑 忠良



十九世紀から二十世紀へかけての世界は英國を首座とし中心として凡ての秩序が成立して居つた。東亞も御多分に洩れない。東亞に住する諸國家諸民族の例外なく英國及び英國に便乗する歐米諸國に依存して其生を保ち其社會を維持して居つたといつて宜しい。

日本は明治維新と共に近代世界の國家群の中に呱呱の聲を上げて生れて來た。明治、大正の時代は其幼年期、少年期である。昭和の今日、日本は青年期に入つた。幼年の時期に於ては現實の世界を肯定し自己を環境に順應せしめて成長するのを當然とする。西洋文化に抱擁せられ英米其他歐米先進國に依存して今日の文化も經濟も政治も作り上げたのであるが、已に一人前の青年ともなれば現在の環境を打開して独自の運命を追究する欲求に燃えるのは生物學的必然である。昨年八月第二次近衛内閣が發表した基本國策要綱の中に其根本方針として

皇國の國是は八紘を一字とする肇國の大精神に基き世界平和の確立を招來する事を以て根本とし先づ皇國を核心とし日滿支の強固なる結合を根幹とする大東亞の新秩序を建設するにあり。

と宣言した。大東亞新秩序の建設は皇國精神の大理想を具現する第一歩である。青年期に入つた日本民族が昂然として東亞新秩序を叫び、東亞諸民族諸國家に對し英米依存を揚棄し、日本に依存せよと呼び掛けるのは生命力ある大民族として當然の態度である。

新秩序が現状における支配者に氣に入る道理がない。全世界を支配し全世界を臣従せしめてゐる英米に對し明瞭なる挑戰狀を突き附けたのである。滿洲事變、國際聯盟脱退、支那事變、三國同盟、ABCD包圍陣の突破、此等一聯の事業は東亞新秩序建設のため青年日本の當然歩むべき荆棘の道である。

は新秩序などとはいへなかつた。日清戰爭に於ては韓國は日本と唇齒輔車の國である。唇亡びて齒寒しといつて清國と戰つた。

日露戰爭に於ては滿洲は日本の墻壁である。墻壁は堅固に維持せねばならないといつて露國と戰つた。その奥の奥に東亞新秩序の建設といふ大理想が深く藏されて居つたのである。併しこの大理想は口に出せなかつた。出す實力が具はらなかつた。滿洲事變の時ですら生命線の防衛などと極めて消極的な申譯をなすを必要とした。

我々は東亞新秩序の建設と誰憚らず公言出来る今日の國力に對して歡喜して宜しいと同時にその負擔の重大なるを深く認識せねばならない。空念佛を唱ふる如く東亞新秩序を口にしてはならない。東亞における既成の全勢力を驅逐すると同時に從來百パーセント依存した政治、經濟、文化の總ての因縁を絶ち切つて獨立獨往の新生活を樹立せんとするのだから、克く克腕に覺えがあつての上である。

舊秩序に於て支配者の地位にあるもの即ち歐米の各國が新秩序を主張する我國に對して猛烈として攻撃を加ふることは固より當然である。然も此等の國は昨日における師匠であり、先輩であり、親分格である。彼等に見放されるといふことだけで我國國民生活は大打擊を受ける。況んや彼等を向ふに廻すに於ておや。

る難關は歐米等外部よりの壓迫に止らない。敵は更に東亞の内部に存在する。善かれ惡かれ、舊秩序は二百年、三百年の歴史を持つてゐる。東亞諸民族は長年巧妙なる彼等支配者の調教の下に奴隸的な政治生活、禽獸に近い文化生活、乞食的な經濟生活に對して反抗する氣力を喪失してしまひ、一日の安きを偷んで醉生夢死してゐる。稀に目覺めんとするものは、極端なる抑壓を蒙るか或は巧に權勢利慾を以て誘はれ、支配者の籠中の物と化する。我國が如何に絶叫するとも反應がない計りか現狀維持の先鋒となつて却つて我國の行動を阻止せんとするものが出来る。

蔣介石の如きはその張本であるかかる獅子身中の虫を先づ退治驅除してかかりそして一般民衆に舊秩序下における生活の如何に卑屈下賤なるものかを反省せしめ、我國と共力して新秩序を建設し人間らしき新生活を享受するため精進せしめねばならない。朽木彫るべからず、糞土塗るべからずの感無きにしも非れども苟も東亞新秩序の建設を達成せんためには斯るたよりなき民族をも道伴れとして進まねばならないのである。

彼等をして我に依存せしむるに彼等に對し高敏なる政治文化の生活を約束する事固より等閑に附すべからざる事であるが、何より先と與へねばならないのは經濟生活の保障である。武士は食はねど高揚子式の風格を現在の東亞諸民族に期待する譯にはゆかぬ。英米依存を止らて我に依存せよと大見得を切りながら生きるの勝手に生きよと突き放しては共榮團の盟主と威張る事も出来ず、東亞に新秩序を主張する事が出来ない。

英國を中心とする東亞の舊秩序は善かれ惡かれ一の既成の秩序である。東亞民衆の經濟生活を維持する交通も通信も金融も貿易も産業施設も技術も凡て歐米に繋りを保つてゐる。この連繋が絶えれば東亞諸民衆の生活は攪亂される。現に日本における我々の生活が英米の經濟壓迫に因つて如何に困窮してゐるかを省みれば思ひ半に過ぎるであらう。東亞新秩序建設の難關は正に茲に存在する。

然れども東亞の新秩序は武力のみを以ては確立されない。固より既成の秩序が破壊され新秩序が誕生する時其過渡期に於て或る程度の生活の混亂は覺悟をせねばならない。之を厭つて居つては有ゆる革新は成し遂げられない。自分一人の目前の安逸を貪つて現狀維持に執着するものは之を排除し、之を打倒せねばならぬ。

併し革新を主張するものは結局における生活の向上安定に關し保障の責任をとる必要がある。日本が東亞の新秩序を叫ぶならば我々は東亞十億の民衆に對し彼等のために最も快適なる經濟、文化、政治の生活を提議する用意を整へて置くを必要とする。

東亞の民衆が生産する鐵、石炭、鹽、砂糖、穀類、植物油其他種々の天産品、加工品の捌け口を何處に求むるか。又彼等が必要とする織維加工品、機械工業品、化學工業品其他の生活必需品の供給は誰が之を引受けるか。舊秩序に於て

斯の如く觀すれば東亞新秩序の建設が如何に困難なる大事業であり一朝一夕の仕事でないことが認識されるであらう。滿洲事變初まつてより二十年、其間一步を踏み出したに過ぎないと觀念し、あせらず、あわてず徐らに準備を整へ實力を顧みながら行進をせねばならない。

今日我々は泰國に對し佛印に對し關印に對し東亞共榮團の理想を説いて種々の經濟交渉をなしつつある。我國の要請するところのものは東亞新秩序建設のため眞に必要な不可缺の前提條件である。併し東亞新秩序に興味を感じざる者にとつては餘り多くの意義を有たないといはねばならぬ。

萬事新秩序が舊秩序より優れる事を説得した上での話である。之を説得するには實力があるのみ。武力の實力のみでなく、經濟の實力である。中華民國に對しても同様である。滿洲國に對しては我々は實績を以て或る程度の認識を與へたが他の諸國諸民族に對しては遺憾ながら我經濟の實力は固より武力の實力をすら十分に認識せしめて居らない。

新聞新體制の先驅  
 滿洲國記者法等公布さる

國家總力戰下における新聞記者の臨戰體制ともいふべき記者法は盟邦獨、伊に於ては夙にこれを制定實施し、一方吾國に於ても新聞聯盟を創設し、新聞、通信各社は自治的に國家的要請に應へつつあるが、滿洲國に於ては今回内地側より更に一步を進めたる滿洲國新聞新體制を確立し新聞體制に劃期的先鞭をつけ、吾國新聞通信界に多大の示唆を與へた。(五頁へ續く)



濠洲の對日感情

倉田正一

南十字星下最古の大陸で、百五十年の歴史しかもたない若い國濠洲、人口は少く、物は豊かで、水

光に恵まれて、ガム樹の常緑と色彩鮮やかな四時の花に覆はれた白人の樂園濠洲、自濠主義とデモクラ

まことに、この約半世紀の間、濠洲人は夢寐の間にも日本の南進を忘れたことはなかつた。日本北

は商品の形で、やがては武力の形で、日本は南下して来る。さう、濠洲人は必然的運命を信するやう

濠洲人の最高の願ひは、恐らく濠洲を現在通り白人の爲の樂園とし、白人の生活水準を今より下

太平洋の現状維持と濠洲の安全の保障を得れば、濠洲人に文句は

ない。總人口の九十九パーセントが歐羅巴白人であり、その九十七パー

濠洲人は進歩的に見えるが、その根底は保守的である。英本國と

濠洲第一主義もある。孤立主義者もある。アイルランド人も居り

今度の大戰に参加してゐる國の中で、伊太利程平靜を保つてゐる

この靜けさの中から戰時風景を二、三拾つて見ませう。

日本よりも一般國民文化の度が高いから戰時中でも文化活動は虚

蘭印、重慶との共同防衛、最近はロシアをも加へての對日包圍陣形

在留邦人の生活は必ずしも愉快なことばかりではなかつた。

は斯くして愛國心を自然に涵養する。

文化と政治

日本よりも一般國民文化の度が高いから戰時中でも文化活動は虚

文化と政治



ムツソリーニの國

下條生

戰時諸相

この靜けさの中から戰時風景を二、三拾つて見ませう。嚴重な燈火管制——理窟無し



# 青年團報



## 本社第一回講演會

### 青年團員に努力要望

本社青年團第一回講演會は八月十三、十四日の二日間、夜勤者別に分ち、團長、小畑參與始め副團長、幹事、各顧問、職員會幹事長その他出席の下に市政會館同盟講習所に於て開催、皇居遙拜、護國の英靈に黙禱、出征將兵の武運長久祈願の後、小畑參與より「東亞新秩序建設の意義」について一時間に亘り有益な御講演があつた。終つて一同國策辯當に舌つづみをうちつつ懇談會に移り。

團員より學歴なくとも腕があるものはどしどし社員の登用の道を拓いて貰ひ度、**「ボーイ」**と呼ばれるにも愛を含んだ言葉で云つて貰ひ度。ボーイにも強制貯金制度を設けて貰ひたい等種種の意見開陳あり、次に古野團長より一、職員會、青年團を設けたのはこれを活用して一層、社運の發展を圖りたい爲である。  
一、私は全社員の健康増進について深く考へてゐる。目下郊外に日曜等を利用して鍛錬出来るやうな農園を物色してゐる。  
一、諸君がその境遇に勝つか、否かは諸君の努力と心組一つによるのである。私は諸君を肉體的に精神的に立派な日本國民にしてあげたいと思つてゐる。

一、私は父が亡くなつて十六の時田舎を飛び出し新聞配達や醫者の支那番等をやり非常な逆境を歩んで来た。逆境を努力と勉強を以て闘い抜いてこそ自分の基礎となるのである。逆境あつてこそ自分の今日となつたのである。決して現在の逆境を苦にすることなく勉強してやつてくれ眞剣に努力さへすれば諸君も立派な同盟人として有爲の人材とならう。

一、今日は諸君と共に隔意なく話し合ふ事が出来たのを喜んで居る。今後かかる會合が開かれる度に私も出来る限り出席して諸君と語り大同盟建設へ邁進して行き度いと思つてゐる。尙最後に班長は各自だけのものとせず、進んで親切に班員の指導連絡や身の上のこと健康の事等について相談して夫々幹事その他に上申、適當の措置を講ずるやう大いにやつて貰ひ度い。  
なほ大平副團長は、青年團は自分達のものであると云ふことを自覺し、今後大いにその運営を圖つて貰ひ度い。社員登用については諸君が大いに勉強して入社試験を受けねばならない。これから諸君も大いに勉強して社内からパスする者が多くなつて貰ひ度い。

とを期待してゐる。腕がきく者に對しても既に地位や別の方法で夫々優遇してある。下積は下積みで結構、そこに眞の團體生活の意義があるのだ。その犠牲的人間の將來は洋々たるものであると結び、かくて兩日とも夫々三時間餘に互り有意義裡に終つた。

## 本社第四回班長會議

八月三十日午後五時より大平副團長以下出席の下に班長會議を開催左の諸件を協議決定せり。  
一、興亞奉公日の行事は従前通り實踐し、尙一層これが擴大強化を計り、又職員會とも協力する事。  
一、九月七日(日曜)午後四時より全社員本社に集合、各班別に訓練中の防衛、防火に就いて集團訓練を行ふこと。  
一、右訓練に引續き午後五時より八階會議室に於て第二回講演會を開催、東部防衛司令部參謀大坪中佐に防空、防衛に關する講演をして頂く。  
一、右講演會に引續き茶話會を開催。  
一、右七日の各計畫委員  
三村定二、鷲尾武治、平山千代一、海藤紋藏、右近啓吾  
一、青年團報原稿締切は毎月三日なる故其旨全社員に徹底せしめること。  
一、圖書館開設に關し、社長始め社員の方より絶大なる御後援あり寄贈圖書も現に二百冊を超へ、一應の整理もついたので愈々来る九月五日より貸出を開始する。  
一、班長は班長會議の後直に班常會を開き班長會議の決定事項を必ず報告し全員に洩れなく徹底せしめること。

## 各支社局報告

### 關門支社

當支社青年團は團體的規律の下に心身の鍛錬を行ひ非常な好成绩を擧げてをります。  
なほ従来の速記講習會は青年團設立を機にこれを改組擴充し技術のみならず將來の「同盟職員」として必要な教育を施すべく役員一致して團員の指導に萬全を期し受講者も眞剣且つ眞面目に勉強しその向上の跡も見るべきものがあります。

### 福岡支社

六月十四日役員初會合  
決定事項 月例役員會七月より毎月一回第一土曜日に開催の件、月例行事七月より毎月一回第一日曜日に神社佛閣に参拜の件。  
研究事項 團旗制定の件、團服制定の件、速記講習會開設の件、體育施設の件。  
七月五日第一回月例役員會。  
決定事項 第一回七月月例行事は七日支那事變記念日に開催の件、

### サイゴン支局移轉

サイゴン支局は左記へ移轉  
社入 同盟通信社サイゴン支局  
181 Paul Bianehy Saigon  
Tel. No. 20803

### バンコック支局移轉

バンコック支局は左記へ移轉  
社入 同盟通信社  
Convent Road 1726  
Bangkok Thailand.

## 金澤支局

ラヂオ體操は結團以來全員毎朝八時晴雨を問はず朝禮、皇居遙拜に次いで團員外の社員も参加、ラヂオ體操を續行  
海水浴とハイキングの餘暇と天候の宿すかぎり大いに海水浴とハイキングを行ひ鍛錬して居ります  
神棚奉安は身體の鍛錬と共に心の修練の一助にもと今回支局内に神棚を奉安し八月四日奉安式を舉行し、毎朝夕参拜してゐます。これにより、これまでとは異つた嚴肅清浄な氣持で仕事に精進し得られるやうになりました。  
尙目下は身體の鍛錬期として追々涼しくなるに従ひ精神修養に拍車をかける計畫ををります。

## 希望を持つて實踐

本社第十一班 齋藤  
青年團の成立に當り團員中には口だけは一致協力團結して同盟通信社のために大いに努めたといふ者がありますが要は實行であります。  
とかく人間は口では仲々うまい事をいひますが、それは眞に腹の底から出た信念に基くものである事は甚だ少いと思ひます。  
勿論青年には大きな希望を持たない者はないだらうと思ひます。青年にはこの國家的重大時局を認識しつと熱と希望を持って、困難にぶつかつて行く氣氣と精神力とが望ましいのであります。  
よく世間の人は「朱に交はれば赤くなる」と實際その通りです。どんな人間でも自分の希望通りに進みたいものです。然しとかく青年は悪い方へ進みやすがいい方へは仲々進まないものです。僕も一度はその悪の方へ進みつゝあつたのですが靜かに將來を考へますと不安の氣持が起きて來たのです。そして今こそ自分を創る岐れ跡をまぢがつたなら、もう青年としての希望を失なつたも同然だと思ひ將來への大きな希望をしつかりつめ一歩前進の固い決心をしたのであります。そして自分は今その目的に向つて進んで居ります。

## 本青年團對抗野球

青年團對抗野球戦は八月十日午前九時より蒲田區荏原中學校グラウンドで舉行された。  
松本編輯局長の始球も鮮かに發送部チーム對内勤者綜合チームの試合は初めより互格の熱戦を演じたが、六回目發送部チーム一舉六點を擧げ、遂に十對六で發送部チームが優勝、松本局長杯を獲得した。  
尙右に引續き體育部有志對青年團綜合チームの對抗試合は結局十對四で青年團軍大勝、凱歌を擧げ午後一時終了。

# 同盟初の殊勳者

## でかしたぞ柄澤君



支那事變生存者論功行賞は賞勳局並に陸軍省から續々發表されつゝあるが去る八月十五日の第三回生存者行賞中功七旭八の恩命に輝く柄澤上等兵は實に本社出版部勤務柄澤君其人なのである。

同盟社員中最初の金鷄勳章を授賜された同君の感慨はさること乍ら、右は同盟全員の矜りでもある。同君は昭和十三年九月應召直ちに中支に出征し本年二月召集解除となつたが其間、荻洲(田中靜、内山)部隊に屬し、大別山、武漢襄東會戰、宜昌作戦に参加勇戦した。

## 感激のまゝに

柄澤 徳二

中隊長だつた關谷中尉からの便りで今度の論功行賞を知つた。故郷の姉からも自分の榮譽を載せた地方版を送つてくれた。自分としては何と言つて良いか解らない。ただ目頭の熱くなるのをどうする事も出来ない。何の功も、何の勳もなく、辛うじて戦友の後からアゴを出して行軍した自分ではなかつたか。それにかゝる榮譽を受けるとは、何の感動的な文字も浮けない、それ程に感激してゐるのである。これは自分の力ではない、ひとへに皇恩のしからしめるところであり、亦上官始め先輩、戦友の指導と鞭撻に他ならないのである。それらの尊敬すべき人々の力である。

## 産業別通信

### 愈々發刊

わが社が豫て準備中であつた産

故社長の満二周年に

## 傳記「岩永裕吉君」完成

長林 密 藏

昭和十四年九月二日急逝された我が同盟初代社長岩永さんの傳記「岩永裕吉君」は豫て伊藤參與が責任者として編纂中の處九月一日漸く完成した。よつて翌二日岩永さんの満二周年忌當日古野社長は多摩墓所に詣でて之を報告し、更に伊藤參與と共に上大崎の岩永邸に赴き三令嬢並に長與善郎氏參列の下に恭しく右傳記を岩永さんの靈前に捧げた。

この傳記編纂計劃は岩永さんと生前特別親交の深かつた田中都吉緒方竹虎、高石眞五郎、金井清、

## 藤倉吉藏君逝去



本社警備部勤務社員藤倉吉藏氏は豫て順天堂入院、療養中の處急性腹膜炎のため八月二十八日午前三時逝去されました享年四十四。

實情を痛惜の至りに堪へず茲に謹んで弔意を表し心から同君の冥福を祈ります。尚告別式は八月二十九日自宅(東京市瀧ノ川區田端新町一ノ八八番地)に於て厳肅盛大に執行されました。

## 噫、藤倉君

一 牛 腸 生

君は資性温厚にして精勵格勤部内の信望篤かりしに今や已になし。

山形の山村に藤倉家の五男として呱呱の聲を擧げた君は幼少より病身にして矮軀乍ら利かぬ氣の山形人氣質を遺憾

思ふ。斗猶ほ辭せず、醉へば夜を徹する態の酒豪振る長男昇君の安田工業に入る頃から俄然變貌し遺兒昇君の活の悉くが子供本位であつた君に亡しと雖も秀れたる二兒は父の遺志を大成するであらう。

藤倉君以て冥せよ。

## 同盟機格納庫 雁の巢に新設

本社航空部の大陸への飛行機運航基地福岡雁の巢飛行場内に設置計畫中の同盟格納庫は、同飛行場入口正面本館右側絶好至便の地五〇〇餘坪を下して建設することに決定、八月二十八日午前十時三十分本社派遣の神子島航空部長を祭主とし福岡市警固神社後藤社司奉仕のもとに極めて簡素厳肅に地鎮祭を擧行した。



濟 閱 檢

同格納庫は間口三〇m奥行三八m全金屬製構成の見事なもので本年十月末には完成する筈。雁の巢にはまだ日航社以外の格納庫はなく同盟は各社に魁けて建設することとなつたもので、本社の航空部整備再出發とともに大陸への前進基地として其將來は大いに期待されて居る。

## 移轉通知

調 査 部

當部は新館、別館(週報、旬報年鑑)共去る八月中旬日比谷市政會館四階に移轉しました。これで

巖に移轉して居りました情報部特信部、出版部と調査局全員が一室に會した譯です。

漸く資料の整理も完了しました。資料搬送専任のボーイも置きやがて直通電話も入る筈ですから従来以上御利用の程を。

なほ御用濟資料の返還遲滞又は其の紛失なき様一段と御協力願ひます。

## 職制一部變更

八月一日より通信局に英文部を新設しましたので現行職制第四章第十三條を左の通り改正します。

記

第十三條 通信局に左の部を置く、各部の事務分擔は社長の承認を経て主査常務理事之を定む。

地方部、大陸部、海外部、英文部、發送部、航空部、技術部

(二頁より)

即ち滿洲國通信社法、新聞社法記者法、外國人記者に關する件ならびに外國の通信社又は新聞社の支社及び記者に關する件の五件は去る八月十三日の國務院會議を通じて、參議府會議の諮詢を経て上奏御裁可を仰ぎ今回公布施行された。

これにより滿洲國通信社は情報(ニュース其他)の蒐集及び供給の事業を統制確立し國政の滲透と國威の發揚に邁進すべき國家機關として再發足、從來の滿洲國通信社は解消して特殊法人たる滿洲國通信社は新たに創立されることとなり、また國內各新聞社は新聞社法の下に時事報道、時局解説等による國政の滲透、文化の向上に邁進する國家機關として新たなる特殊法人に改組されることになつた。

更に記者法外二件は通信新聞記者の國家的使命を明かにし、その資格及び政府による監督方法を定めると同時に記者の公的地位を認められたものである。

人事

八月

Table listing personnel with columns for names, titles, and departments. Includes names like 藤田正, 吉野清, 高橋武, etc.

Table listing personnel with columns for names, titles, and departments. Includes names like 石松林, 青島小, 天津水, etc.

Table listing personnel with columns for names, titles, and departments. Includes names like 小島一, 藤田正, 吉野清, etc.

互助會報告八日

Text report from the Mutual Aid Association dated August 8th, mentioning members like 根本立, 伊藤廣, etc.

切望してゐますが、これらの中に更に社員全体の自省に訴へたいものが多数あります。よつて職員會幹事會は本社青年團幹事とも、連絡して、これら案件を一纏めにして所謂「自肅實踐運動」を活潑にくり展げることにしました。

住宅問題について
住宅難対策として多数の建議案が出て居り、目下その具體策に付鋭意考究中でありますが、差當つて在京社員及び本社への轉勤社員の便宜を圖るため、左記要領により厚生主任にその斡旋を願ふことになりました。

社内自肅運動について
先般各班から多数眞摯な建議案が提出されましたが、何れも熱意のこもつたものばかりで、一日も早くこれらの建議策が實現されて行くことを